

史料群番号 67

史料群名	なかがわとしお 中川寿夫家文書	旧所蔵者	中川寿夫
探訪時住所	京都府熊野郡神野村甲山		
現在の住所	京都府京丹後市久美浜町甲山		
探訪年月	昭和25（1950）年3月		
史料の年代	永禄9（1566）年～明治25（1892）年	史料の総点数	145点
年代の内訳	近世 80点/近代 32点/不明 33点	筆写稿本	あり
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪の際の書類には、証書類1束の寄贈を受けた旨が記されている。現在「中川寿夫家文書」の内容を見ると、その大半は証文である。おそらく、探訪されてから現在まで、史料の散逸、移動は生じていないと考えられる。

史料群の概要

探訪地の神野（かんの）村甲山（こうやま）は、久美浜湾に面し、火山灰が堆積した台地をもち、水田耕作や畑作が行われてきた。近世から明治22年まで熊野郡甲山村が存続し、その後神野村、昭和30年から久美浜町、平成16年に京丹後市となった。

永禄9年と見られる「畑地譲渡証文」をはじめとして、田畑、屋敷、山林の譲渡証文が断続的に凡そ80点ほど残っている。幕末頃から金子借用証文や「頼母子銀入用金覚」などの金銭関係の史料が増えてくる。漁業、水産業に関する史料は、ほとんど見られない。

